

沼津工業高等専門学校

数理・データサイエンス・A I 教育プログラム自己評価

評価日時：令和5年3月9日（木）

目的：令和4年度 数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの自己評価

プログラムの評価項目	評価	評価理由
教育プログラムの履修・修得状況	S	全学科の学生に対してリテラシーレベルの科目を開講している。プログラムの修得状況は99%であり、高い値である。
全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	S	プログラムを構成する科目は全て必修科目のため、全学科の学生の履修率は100%である。
産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項	B	今年度から実施するプログラムであり、今年度の実施結果を来年度の外部有識者で構成される会議において、意見を伺う予定である。
学生アンケート等を通して、学生の達成度を把握し、数理・データサイエンス・A I を学ぶことの楽しさ・意義を理解させること	A	本プログラムの授業アンケートの結果から以下の結果を得られた。 ・授業内容を「よく理解できた」「理解できた」：74% ・得られた知識が自らの将来に活かせるか「とてもそう感じた」「そう感じた」：75% また、数理・データサイエンス・AIへの興味関心について、半数以上が「とても関心が増した」、「関心が増した」と回答しており、「ある程度関心が増した」を加えると97%から肯定的な回答を得られた。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること及び学修成果	A	本プログラムの授業アンケートの結果、授業内容を「よく理解できた」「理解できた」と回答した学生は74%であり、またアンケート結果は、授業担当教員にフィードバックしており、来年度の授業を改善できる体制を構築している。

内部評価の基準

S：十分満足している。

A：満足している。

B：改善を要するが、対応策が立案され、対応に着手している。

C：改善を要し、対応策が立案されていない。

数理・データサイエンス・A I 教育分野（授業科目：工学基礎Ⅰ、工学基礎Ⅱ、情報処理基礎）に関するアンケート

189

応答

09:06

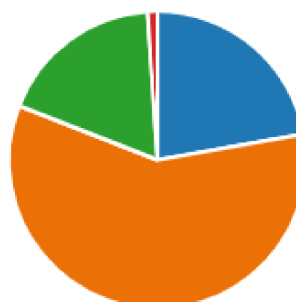
完了するのにかった平均時間

終了済み

状態

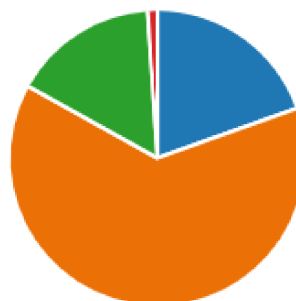
1. 当教育分野の授業について、教員の説明や教材の利用が適切で授業内容がわかりやすかったですか？

● とてもわかりやすかった	42
● わかりやすかった	111
● ある程度わかりやすかった	34
● わかりやすくなかった	2



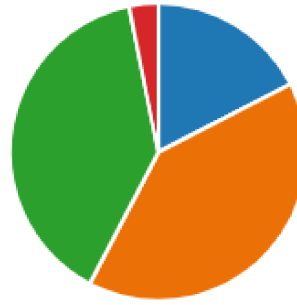
2. 当教育分野の授業について、レベルや進度は、自分にとって適切でしたか？

● とても適切だった	37
● 適切だった	120
● ある程度適切だった	30
● 適切ではなかった	2



3. 当教育分野の授業を受けることで、データサイエンス・AI教育分野に関する興味関心が増しましたか？（キーワード：人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、深層学習）

● とても関心が増した	33
● 関心が増した	76
● ある程度関心が増した	74
● 関心を持てなかった	6



4. 全体として、当教育分野の授業は楽しかったですか？また得られる知識が自らの将来に活かせると感じることがありましたか？

● とてもそう感じた	50
● そう感じた	92
● ある程度そう感じた	46
● そのように感じることはなかった	1



5. 全体として、当教育分野の授業を理解できましたか？

● よく理解できた	35
● 理解できた	104
● ある程度理解できた	47
● 理解できなかった	3

